学校番号	1013

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新編　詳解地理Ｂ（二宮）、基本地図帳（二宮）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・地理は「系統地理」および「地誌」からなります。いかに地理に関する理論・知識に長けていたとしても、実際の世界のありように即して考えなければ「地理的考察」とはいえません。「系統地理」、「地誌」の両方を学習することで地理的考察力を養ってほしいと思います。

２　学習の到達目標

・現代世界の地理的な諸課題を、地域性を踏まえて考察する。
・現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代世界の地理的な諸課題を考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	地図や統計などの諸資料を収集し、現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付けている。	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート レポート	定期考査 ワークシート レポート ノート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	現代世界の地域区分	・指標によって異なる地域区分			○		a:世界の諸地域を区分する際の指標について関心をもち、その適用基準について意欲的に考えることができる。 b:世界の諸地域を区分する指標、区分結果などについて多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。 c: 必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:世界の諸地域を区分する指標についての特徴を理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
	現代世界の諸地域	・中国 ・韓国 ・東南アジア ・インド ・西アジア・中央アジア ・アフリカ	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ 	○ ○ ○ ○	a:世界の諸地域の政治・経済・文化・環境等の分野について関心を持ち、現代の諸課題と結びつけて意欲的に取り組むことができる。 b:世界の諸地域の政治・経済・文化・環境等の諸課題について多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。 c: 必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:世界の諸地域の政治・経済・文化・環境等の諸課題に横たわる背景の特質を理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

2学期	現代世界の諸地域	・EU ・ドイツ・ポーランド ・ロシア ・アメリカ ・ブラジル ・オーストラリア・カナダ	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:欧米諸地域の政治・経済・文化・環境等の諸課題に関心を持ち、現代の諸課題と結び付けて考えることが出来る。 b:欧米諸地域の政治・経済・文化・環境等の諸課題について多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。 c:欧米諸地域の政治・経済・文化・環境等の諸課題について、考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:欧米諸地域の政治・経済・文化・環境等の諸課題について関係する地図、その他の地理情報に関する知識を理解している。	ワークシート レポート
3学期	現代世界と日本	・世界の中の日本 ・持続可能な社会に向けて	○ ○	 ○	○ 	○ ○	a:環境・経済・人口問題など現代世界の諸課題に関心を持ち、その背景や解決について意欲的に追究している。 b:環境・経済・人口問題など現代世界の諸課題に関心を持ち、その様相について多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現しようとしている。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:環境・経済・人口問題など現代世界の諸課題に関心を持ち、その背景・原因や解決にむけた方策についての知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。